

令和4年度 第4回 第8期武蔵野市廃棄物に関する市民会議要録

【日 時】	令和4年11月4日（金）	午後3時～5時
【場 所】	クリーンセンター2階	見学者ホール
【出席委員】	山谷修作（委員長）、田口誠（副委員長）、稲垣貴之、大塚省人、加藤慎次郎、 （敬称略）志賀和男、杉山日菜子、中村充、花俣延博、三原美菜子、村井寿夫、茂木勉	
【事務局】	ごみ総合対策課長 ほか	
【欠 席】	長山楓、西上原節子	
【傍 聴】	なし	
【配付資料】		
資料 1	武蔵野市一般廃棄物処理基本計画（令和5年度～令和14年度） （中間のまとめ案）	
資料 2	中間のまとめ案の主な変更点について	

1 開会

【事務局】定刻となったので会議を始める。

2 議題

（1）一般廃棄物処理基本計画（中間のまとめ案）について

【委員長】事務局に説明をお願いします。

【事務局】中間のまとめ案についての説明。

【委員長】事務局の説明に意見・質問はあるか。

【A委員】年度は西暦（令和何年度）で書くと良い。主なところは併記してほしい。

【事務局】見やすさを考えて西暦も併記することを検討する。

【G委員】図表が適度に入っているので見やすくなったが、まだ全体的に文字が多い。

【J委員】文字数の多さは、概要版を作成することで改善される。

【A委員】ごみ処理基本計画32頁について、ここ数年でリアルな関わりから、SNSを活用した関わり方に変ってきている。これにより個人と個人との関わりが強くなっている。特に若い人を巻き込むには市民活動団体を連携の相手にするというよりは個人と個人との連携が必要だ。その内容を盛り込んでほしい。

【事務局】「市民・市民団体・事業者・行政の連携」は基本方針の2番目に載せている。今後10年間を見据えてオンライン・SNSの活用や、団体・個人の連携などより踏み込んだ記載を検討する。

【I委員】ごみ処理基本計画11頁（4）の2）に書かれているTABETEをダウンロードした。しかし吉祥寺地区では参加企業が少なく、市民周知にも課題が残る。また、14頁4）では可燃ごみの中に汚れたプラスチックが多いと書かれている。これがプラスチック製容器包装に出されれば資源物の増加につながる。

ごみ分別に関心の低い人々への周知方法を考えると33頁の（2）や（3）が良い。市内の大学に通う学生は一人暮らしが多いので、分別の学習機会を作るのが良いと考えた。大学4年生は社会人になるので、大学等と連携してごみの捨て方を伝えられるような取り組みができると良い。

- 【委員 長】市は若年層向けにごみ分別のアプリを利用しているか。
- 【事務局】単独のアプリは使用していない。武蔵野市公式の LINE にごみ分別のコーナーを設置している。
- 【I 委員】ごみ袋が品薄になっているが、燃やすごみの減量を考えると、この現状は自分が日々排出するごみの量を知るきっかけになっている。普段ごみに興味を持たない人も興味を持ってもらう機会になる。
- 【J 委員】ごみ処理基本計画 35 頁プラスチックの検討について、地球全体の温室効果ガスをどう減らすかということに関連し、市内の廃棄物をどう分別・収集するかは大きな課題である。
- 【F 委員】汚れたプラスチック容器等を燃やすごみに出してしまうことがあるが、プラスチック容器から出る CO2 と汚れているものはいずれも有機物である。そのため CO2 はさらに加算されてしまうので、そこが盲点である。
- 【E 委員】ごみの出し方が見てわかるような目安がカレンダー等の資料で用意されているとよい。またジモティーの紹介や広報をどのくらいしているのか。トラブルも多いと聞いたことがあるので、利用者の感想などがあれば教えてほしい。今後ネット社会がさらに進むので、SNS 等を活用できると良い。
- 【委員 長】容器包装プラスチックの分別排出は、日本容器包装リサイクル協会の判定基準に従っている。
- 【K 委員】容器リサイクル法に基づく分別基準適合物と呼ばれる。においや食べ残しが残っている状態のプラスチックはよくない。一方、紙で拭き取ったり、水でゆすげばプラスチック製容器包装の日に排出できる。
- 【A 委員】カップヌードルの容器は最近「紙」と書いてある。そのためカップヌードルの容器はリサイクルができない。メーカーも食品の容器を時代に合わせて変化させる。情報発信の際は、高齢者層には紙媒体を使用し、若年層にはアプリや SNS を使用するという姿勢を示した方が良い。
- 【事務局】ごみの出し方の目安についてはごみ便利帳に写真付きで案内している。ごみカレンダーにはこのような記載はない。広報担当に確認が必要だが、市公式 SNS で発信できる。
- 【J 委員】ごみ処理基本計画の 33 頁「情報提供の推進」で SNS の活用に触れているが内容の充実を図りたい。
- 【委員 長】リユース掲示板が利便性の点で課題があるという情報を把握しているか。
- 【事務局】ジモティーは今年度の 4 月から連携協定を結び市民に広報した。市内の取引実績の情報はもらっているが、具体的な品物の情報は把握していない。ユーザーの意見も把握していない。取引で生じたトラブルは運営企業で解決してもらおうが、大きなトラブルは起きていない。そもそも利用者自体が少ない現状もあるので、より多くの市民に活用していただく方法を検討したい。TABETE も定期的に「レスキュー成立実績」のデータ提供を受ける予定だ。
- 【I 委員】ごみ分別の意識が低い人への啓発は、市指定有料ごみ処理袋にごみ分別の情報を載せると良い。例えば、袋を包む紙にアドバイスを載せたり、取扱店の陳列棚に掲示するなど常に目にする仕組みがあればごみ削減に有効だ。
- 【K 委員】ごみ処理基本計画 25～26 頁の目標の数値について、家庭ごみは前計画と同じ 588 g だが、事業系ごみが 5580 t になった過程を教えてください。

- 【事務局】事業系ごみの目標は、平成 25 年から 30 年度のごみ量の減少具合から考えた。令和元年から 3 年にかけては、コロナの影響で事業系ごみの量が大幅に減少したが、再び増加すると予想している。その時のごみ量の考え方として平成 25 年～30 年度の変化を参考にした。平成 25 年に事業系の処理手数料を 20 円/kg から 40 円/kg へ増額したためである。
- 【委員長】武蔵野市の事業系ごみの手数料が 40 円というのは他自治体と同水準である。
- 【B 委員】店舗から出る食品残渣はこれまで可燃ごみで出していたが、リサイクルに回すようにした。市内 3 店舗は飼料化からガス化に転換してこれまでは青果から出る野菜くずしかリサイクルできなかったのが、売れ残った容器ごとガス化できるようになったため可燃ごみの量が減ってきた。
- 【L 委員】行政区が変わるとごみの捨て方が全く異なることに悩まれる方の声をよく聞く。市のごみの出し方のルールはごみカレンダーに記載があるが不完全である。細かい事例も含めてもう一度検討してほしい。なぜなら吉祥寺周辺に立っているマンションは 1 K で学生や単身者が住んでいる。そういう人が転入してきたときに市のごみ分別のルールが分からないためそのまま出してしまう。細かい分別の説明を行うのが行政に求められている。最近、企業がごみの減量に力を入れ始めた。これに拍車をかけるような行政からの指導を期待する。
- 【委員長】ライフスタイルの変容に合わせた記載方法を必要に応じて見直してほしい。
- 【C 委員】企業として容器やストローの材質を変えることを促したり、総菜についてくるカトラリーを有料にすればプラスチックごみは減っていくと思う。分別に関しては、市の分別を理解している許可業者と契約することで、市内事業者として責任を果たしていきたい。
- 【副委員長】第 1 章 1－8 で課題が述べられているが、課題に対してどのような政策をするかは第 4 章 4－2 の「施策の展開」と関連させて読むという認識でよろしいか。
- 【事務局】第 1 章 1－8 の課題と第 4 章 4－2 は、一つの課題に対して施策が複数存在するため、必ずしも全て関連していることはない。
- 【委員長】ほかに質問はあるか。特にないようなので次に進む。
- 【全委員】異議なし。
- 【委員長】中間のまとめ案について事務局から何かあるか。
- 【事務局】中間のまとめ案についていただいた意見を検討していく。今後、委員や理事者の意見を踏まえて中間のまとめ案を改善する。11 月末をめどに中間のまとめ案の完成版を委員の皆様にお送りする。12 月 14 日に市議会で行政報告を行い、翌日 12 月 15 日からパブリックコメントを行う。そこで頂いた意見を踏まえさらに改善していく。

3 その他

- 【委員長】事務局から何かあるか。
- 【事務局】議事要録については作成の上、委員の皆様にご確認を頂くことをお願いする。第 5 回は 2 月 13 日（月）に開催予定である。
- 【委員長】何か全体を通じて意見・質問はあるか。
- 【L 委員】図表の文字が小さいのもう少し見やすくしてほしい。
- 【事務局】どこが見づらく、どこは見やすいか。

- 【L 委 員】資料編の数字が見づらい。ごみ処理基本計画9頁や10頁の図表は見やすい。
- 【事 務 局】工夫して改善する。
- 【委 員 長】ほかに質問はあるか。特にないようなので次に進む。
- 【全 委 員】異議なし。

4 閉会

- 【委 員 長】以上で本日のごみ市民会議を終了する。